

横浜環状南線 都市型トンネル施工技術検討会

第 11 回 検 討 会 ＜ 公田笠間トンネル ＞

令和8年6月23日

東日本高速道路株式会社 関東支社 横浜工事事務所
鹿島・竹中土木・佐藤工業 横浜環状南線 公田笠間トンネル工事特定建設工事共同企業体

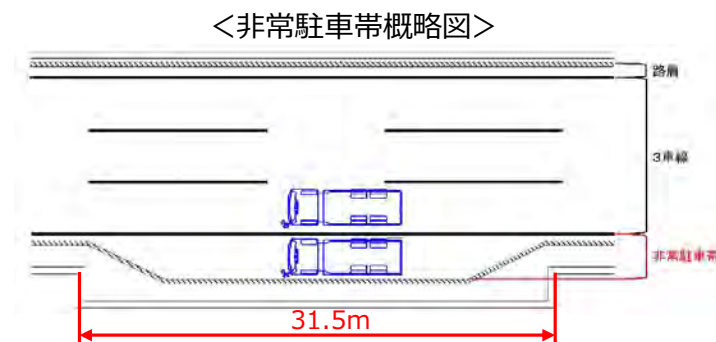
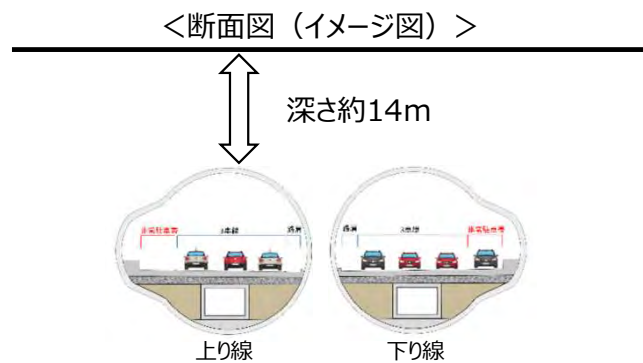
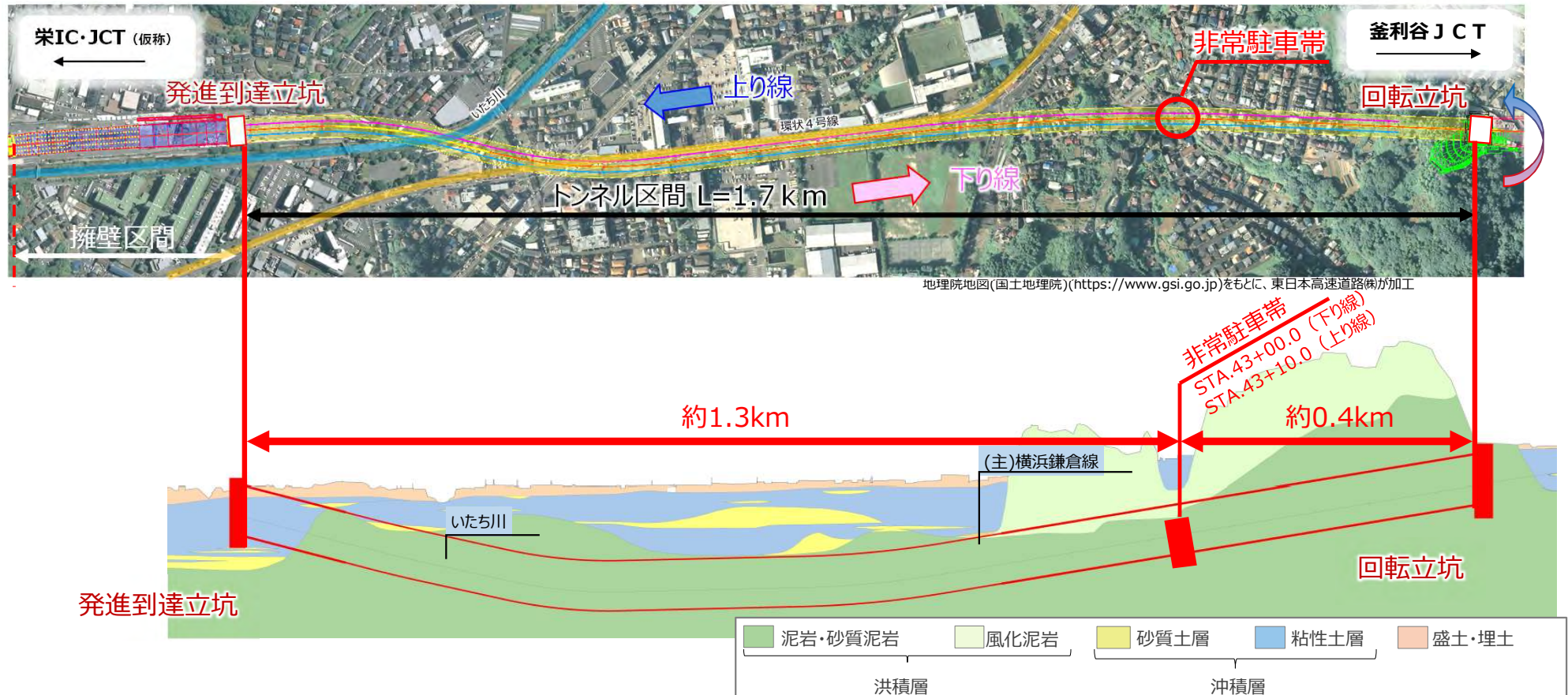
目 次

1. 非常駐車帯(上り線)地中拡幅の施工状況について	2～5
1. 1 位置図	2
1. 2 現在の状況	3～4
1. 3 チェックボーリングの実施	5

1. 非常駐車帯(上り線)地中拡幅の施工状況について

1.1 位置図

非常駐車帯の設置位置は、上部に沖積層が分布しているものの、掘削断面は洪積層であり、非常に硬質な地盤となっている

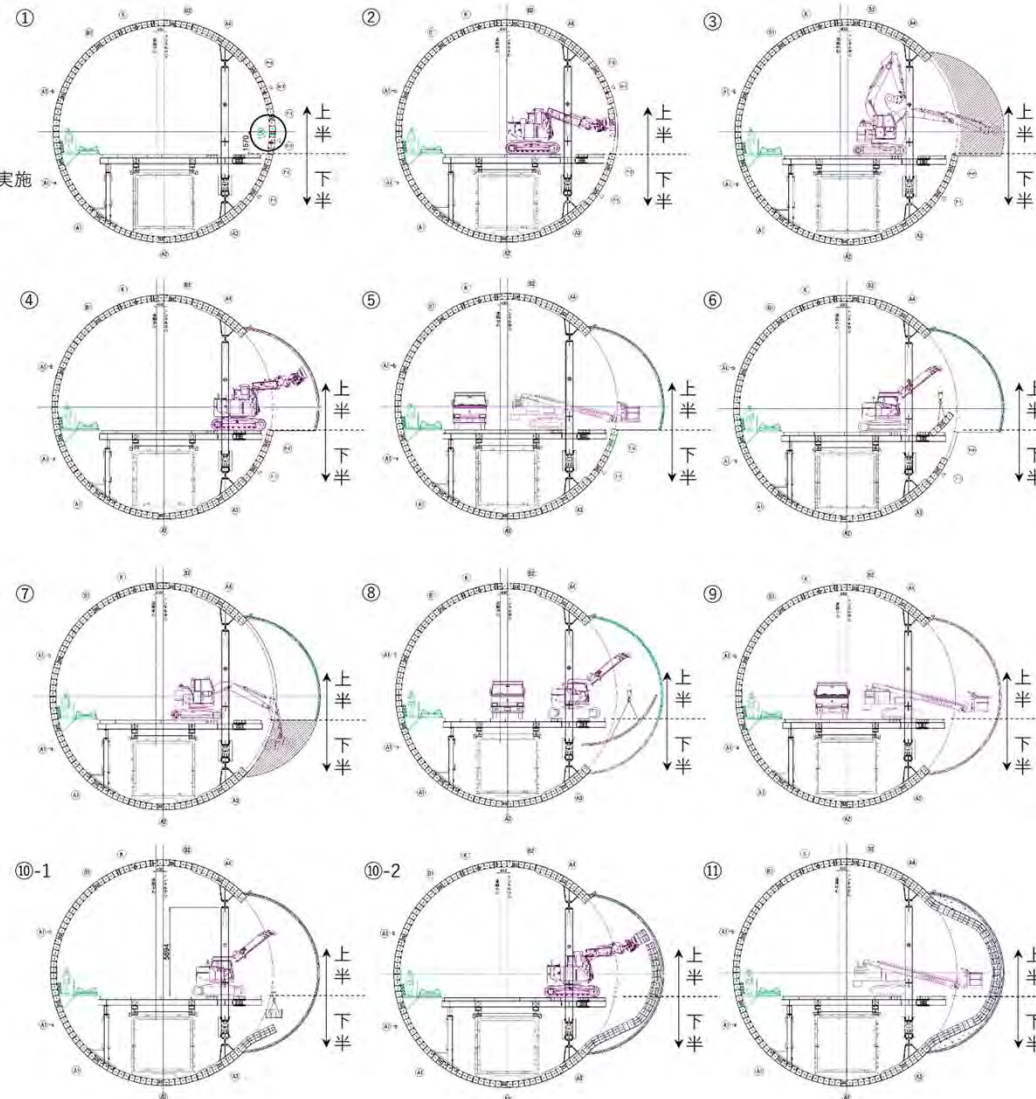
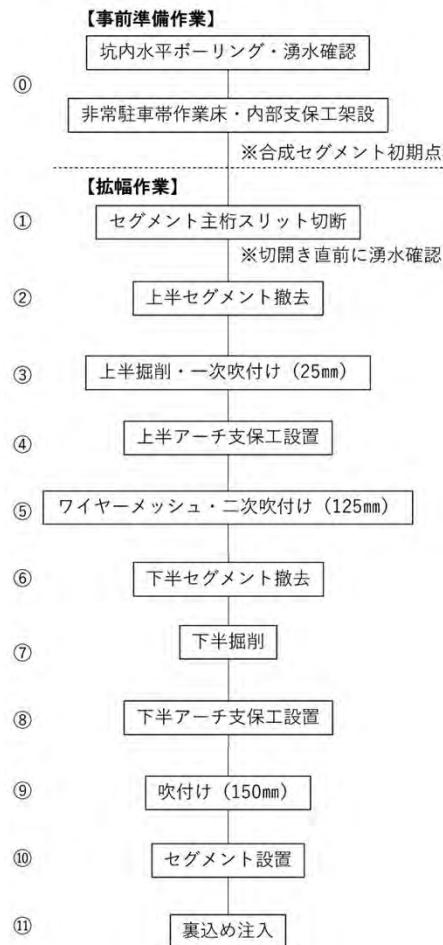


1. 非常駐車帯(上り線)地中拡幅の施工状況について

1.2 現在の状況

・令和7年5月から復路（上り線）の地中拡幅に着手し、令和7年10月で地中拡幅完了、令和8年4月妻壁構築完了

全体施工フロー



1. 非常駐車帯(上り線)地中拡幅の施工状況について

1.2 現在の状況

・令和7年5月から復路（上り線）の地中拡幅に着手し、令和7年10月で地中拡幅完了、令和8年4月に妻壁構築を完了した

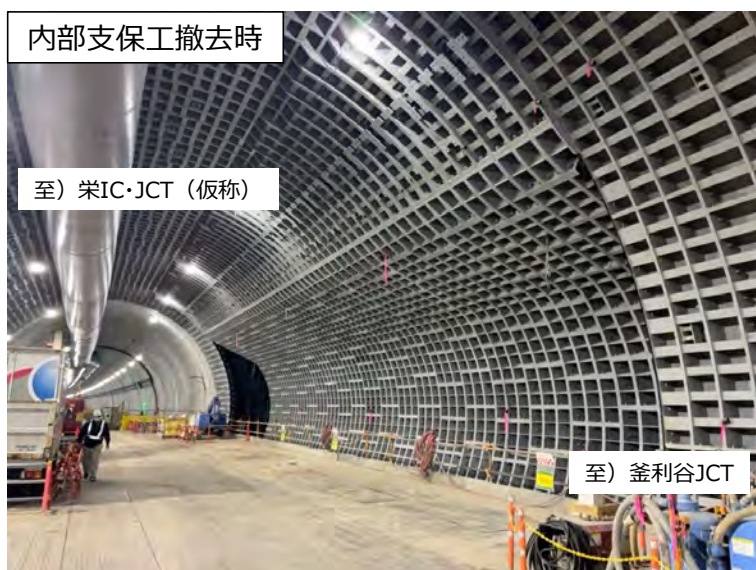
<施工状況>



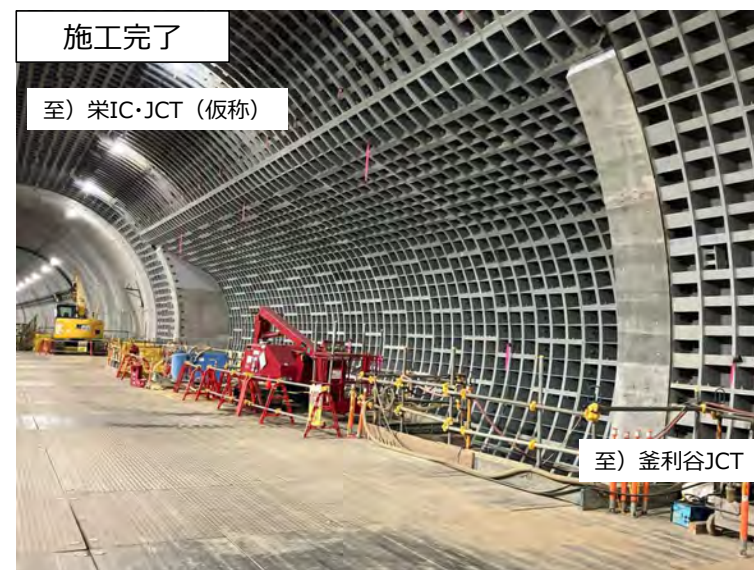
令和7年5月時点



令和7年7月時点



令和7年10月時点



令和8年4月時点

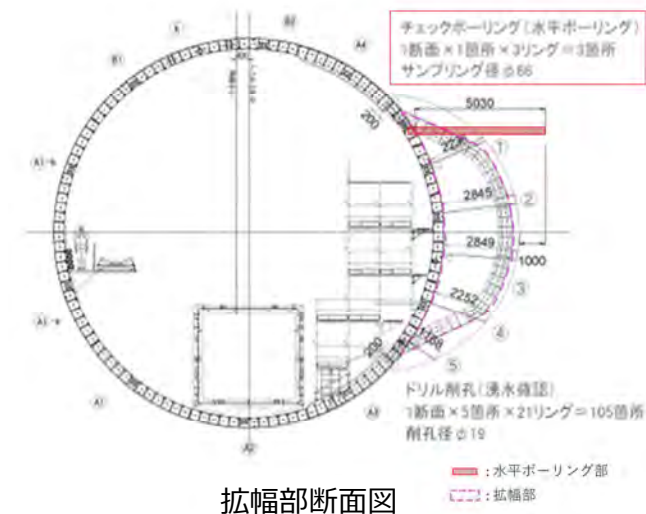
1. 非常駐車帯(上り線)地中拡幅の施工状況について

1.3 チェックボーリングの実施

- ・令和7年2月に坑内より上り線側のチェックボーリング調査を実施し、その岩盤分布と性状を確認した
- ・チェックボーリング位置の拡幅断面においては、すべてOc層と判断され、その岩質はほぼ均質であり、亀裂は少なく一部に認められるのみであり、顕著な風化は確認されなかった
⇒その結果、既存のボーリングデータを含め、地中拡幅範囲はOc層のみであり、Oc-w層が含まれないことを確認した
- ・上記の結果より、パイプルーフ補助工法は不要と判断した



水平ボーリング施工状況



採取コア